



四国学院同窓会会長挨拶

会長 山本宏 (1977年度人文学科卒業)

同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍の事と拝察いたします。又、日頃は同窓会活動に深いご理解ご協力を賜りありがとうございます。4月14日に熊本県を中心として、大規模な地震が発生し、大分県を含めて各地で大きな被害が生じております。この度の地震で被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

2016年2月同窓会役員総会において、牧本憲尚前会長の後任として会長に就任いたしました。歴代会長を始め、多くの諸先輩方が築き上げられた伝統ある同窓会を継承するという重責に身の引き締まる思いでいっぱいです。四国学院は、2019年に創立70周年を迎えます。又、同窓生数21,795名という大きな組織になりました。支部は、全国に10支部あり、2016年度中に沖縄県支部が発足予定です。

昨今の政治経済情勢、少子化問題等、あいかわらず私学を取り巻く環境は、厳しい状況にあります。そんな中、我が同窓会が果たすミッションは極めて重大です。長きにわたって大切にきてきたリベラルアーツ教育の伝統を今に継ぐ母校が益々発展できるよう大学との連携を図り、支援協力してまいります。そのためには、会員の皆様の力の集結が不可欠です。皆様のエネルギーを結集するため、相互理解、情報の発信、参加しやすい環境作りが必要と考えます。今後は、今まで以上に母校の現況をお伝えしていきたいと思っております。明るく楽しく透明性のある同窓会を目指して、役員一同微力でございますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓生皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

四国学院同窓会新役員 (2016年2月選出)

	氏名	卒業年度	学科
会長	山本宏	1977	人文学科
副会長	高橋恵	1978	人文学科
	清水幸一	1980	社会福祉学科
書記	飛田由香	1983	英語科
	後藤康史	1986	人文学科
会計	山田祐一郎	1995	応用社会学科
	東田誠央	1998	人文学科
監事	松田信一	1982	人文学科
	井下美保	1999	人文学科

2016年度同窓会の主な活動

1. 同窓生支援制度の実施
 - ①「四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学金支援制度」
 - ②「四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援制度」
 - ③「卒業証明書等発行手続き、大学施設借用手続き代行」
2. ホームカミングの支援
3. 四国学院大学学生課外活動団体(個人)への支援
4. 大学の企画・プロジェクトへの協力・提携
5. 就職支援
6. 同窓会会報「ロゴスだより」の発刊
7. ロゴス館(同窓会館)の運営

CONTENTS

会長挨拶・新役員・事業計画・・・p1	同窓生からのお便り・サークル紹介・・・p5
2015年度支部総会報告・・・p2	事務局より・・・・・・・・・・・・・・・・p6
2016年度支部総会案内・・・p3	大学関連・・・・・・・・・・・・・・・・p7

発行日/2016年6月 発行者/四国学院同窓会

〒765-0013 香川県善通寺市文京町3丁目2番23号 e-mail rogosu@sg-u.ac.jp



0120-459500

TEL 0877-62-5500(直通) 平日8:30~17:00 FAX 0877-63-4599

2015年度同窓会支部総会報告

九州支部
結成総会

2015年
9月5日



支部長 **黒木幹雄** (1977年度社会福祉学科卒業)

2015年9月5日(土)15時より、大分県別府市(別府ホテル清風)で九州支部結成総会を開催することができました。2014年8月、九州支部設立準備委員会が開催され、約1年間、大分県の加嶋さんを中心にご尽力を賜り、ようやく、九州支部が発足したことは、誠にうれしいことでした。清水先生をはじめ、同窓会本部役員さん及び支部応援のために6名の方と、九州から20名の参加(福岡県7名、佐賀県1名、大分県8名、宮崎県4名)がありました。

式は開会の辞からはじまり、聖書朗読、学歌斉唱、九州支部結成準備委員会代表の挨拶同窓会本部役員・支部応援出席者紹介があり、代表者の挨拶がありました。その後、議長を選出し、次の議事を審議し採決しました。①設立趣旨の報告、②九州支部会会則、③事業計画(活動方針)、④支部役員選出。事業計画(活動方針)でのお知らせですが、2016年度九州支部総会は宮崎県、2017年度は福岡県で開催予定です。今年は宮崎県での開催ですが、高千穂町で、10月22日(土)に開催することにしました。九州で参加者のなかった熊本県、鹿児島県、長崎県の同窓生の参加をいかに促すが事業計画の課題です。議事終了後、大学DVD(15分)の放映、清水先生から大学の現状報告がありました。

総会終了後は、18時より約2時間の懇親会を開催しましたが、話し足りない、飲み足りないのか、部屋飲みで大いに盛り上がり、学生時代にそれぞれが戻ったような時間でした。九州支部結成総会では、同窓生である、牧本前会長と会い、37年も経ってしまった実感が湧いてきました。(お互い、頭の雪が積もってきたなどなど)あれから30年、四国学院大学は様変わりしたことを設立準備の打合せの中でいろいろと聞かせていただきました。昭和50年代の四国学院は、SCC(四国クリスチャンカレッジ)で、文学部だけの単科大学でしたが、現在は、文学部、社会福祉学部、社会学部をもつ総合大学へと変貌したようです。変わっていないのは、善通寺とちょこんとそびえる讃岐富士かもしれません。当時は、インターネットや携帯電話もない時代でしたので、顔を突き合わせてのコミュニケーションがとても濃い時代だったと思います。現在は、情報技術の向上により、顔を突き合わせてのコミュニケーションは不要な時代となりましたが、あえて九州各県から、ご参集いただいたことは、大変、意義深いものでした。

九州には、約550名の同窓生がおります。年代を越え、母校を同じくし、様々な時代を生き抜いてきた同窓生が結束し、今、大学を取り巻く環境が激しく変化している中で、設立したばかりの九州支部ではありますが、同窓会として何ができるかを考えて行ければと思います。

沖縄県支部
結成準備会

2016年
3月6日



沖縄県在住46名の同窓生のうち、13名の出席をいただきました。漆原光徳教授にもお越しいただき、大学の現状をお話ししていただきました。卒業後、郷里の沖縄に戻られた方、仕事で、また結婚して住まわれている方、美味しいお酒と料理を前に、一人一人生活の様子を語りました。当日は用事で参加できない方もおられ、沖縄県支部ができることを心待ちにしておられた事や、今後同窓生の交流が図られることを願って閉会しました。

2016年度同窓会支部総会のご案内

滋賀県 支部総会

- 開催日時 10月8日(土)
 - 受付10:30
 - 支部総会12:00~12:30
 - 懇親会12:30~14:00
 - 講演会11:00~12:00
 - 会場 「立命館大学びわこくさつキャンパス」
草津市野路東1-1-1 TEL.077-561-2617 (BKC地域連携課)
 - 会費 3,000円 ■ 返信締切日 9月24日(土)
- (※懇親会参加者のみ必要です)
京都または近隣県の方も是非ご参加ください。

講演会 『21世紀型リベラル・アーツ~高大接続改革がめざすもの~』



昨年1月に文科省より示された「高大接続改革実行プラン」では、新しい教育観として、思考力・判断力・表現力や主体性・多様性・協働性などの真の学力の育成・評価が求められている。こうした教育改革への本学の取り組みを紹介するとともに、現代の学生像についても紹介する。

講師／杉本孝作 四国学院大学副学長

1972年大阪大学卒業までは大阪に在住、その後10年、東京で暮らし、1982年四国学院大学に着任。大学、大学院時代は有機合成化学が専門、現在は、大学教育、理科教育、環境教育をテーマに教育と研究を進めている。教務部長、短期大学学長事務取扱を歴任、短大の最後を看取る。現在は副学長(教学担当)を務め、学生との年齢ギャップに日々苦悩している。

愛媛県 支部総会

- 開催日時 10月15日(土)
 - 受付14:30
 - 支部総会16:30~17:00
 - 懇親会17:20~19:20
 - 講演会15:30~16:10
 - 会場 「国際ホテル松山」
松山市一番町1-13 TEL.089-932-5112
 - 会費 4,000円 ■ 返信締切日 10月8日(土)
- (※懇親会参加者のみ必要です)

講演会 『かけがえのない一人を追い求める教育』



おじま せいし
講師／小島誠志 牧師

1940年高知県生。1958年日本基督教団須崎教会にて受洗。1966年東京神学大学大学院修了。高松教会、一宮教会、松山番町教会を経て、現在、久万教会牧師。1996年~2002年まで、日本基督教団議長(3期)。1969年~1981年頃に、四国学院大学非常勤講師(ドイツ語、基督教概論等)。著書『わかりやすい教聖』『虹の約束』他多数を発刊。松山市在住。

九州 支部総会

- 開催日時 10月22日(土)
 - 受付14:30
 - 支部総会15:00~17:00
 - 懇親会18:00~19:30
 - 会場 「ホテル高千穂」宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井1037-4
TEL.0982-72-3255 FAX.0982-72-3257
URL <http://www.h-takachiho.com>
 - 会費
 - ・和室宿泊代 14,000円(懇親会費及び朝食代込み)
 - ・洋室宿泊代 16,700円(懇親会費及び朝食代込み)
 - ・懇親会のみ 5,500円
- 返信締切 9月10日(土)

支部長 黒木幹雄(1977年度社会福祉学科卒業)

昨年9月に九州支部が発足し、九州の同窓生の皆様と交流できる機会を得ました。そして今年10月下旬に宮崎県高千穂で第2回の九州支部総会を上記のように開催いたします。高千穂は今までに見たこともないようなダイナミックな自然や、神話に出てくる歴史の舞台、美味しい山の幸や高千穂牛、話題のパワースポット等、見どころがたくさんです。会場の近くにある高千穂峡は、四季折々の渓谷美を見せる景勝地ですが、なんととっても秋の紅葉は格別です。また、近くの高千穂神社では懇親会后、観光神楽を見学できます。自然とロマンが息づく天孫降臨の地「高千穂」を訪ねてみませんか。年代を越え母校を同じくする九州在住の同窓生方々との親睦をますます深めていきたいと願っております。九州だけではなく、どなたでも気軽に参加できますので、お誘いの上、ご参加いただけますようお願いしております。



香川県
支部総会

- 開催日時 11月12日(土)
 - 受付13:30
 - 講演会14:00~15:00
 - 支部総会15:30~16:30
 - 懇親会16:30~18:00
 - 会場 四国学院大学共生館2階多目的ホール
 - 会費 3,000円 ■返信締切日 11月5日(土)
- (※懇親会参加者のみ必要です)

講演会 『チンギス・ハンの人材登用法から学ぶ』



モンゴル帝国大発展の背景をチンギス・ハンの人材登用の面から考察します。

講師／池内功 四国学院大学名誉教授

1949年愛媛県生まれ。筑波大学大学院博士課程単位取得退学後、1979年、四国学院大学文学部人文学科専任講師就職。2015年、人文学科教授として定年退職。その間、韓南大学客員教授、中国内蒙古大学蒙古史研究所訪問学者、台湾中央研究院歴史語言研究所訪問学者となる。北方遊牧民族史、モンゴル帝国史、元朝史を専門研究分野とし、国内外の学会で研究成果を発表してきた。ゴルフ部顧問、寮生アドバイザー、四国学院大学文化学会会長などを務める。赴任して20年以上、ロゴス館裏の学内教員住宅に居住したので、キャンパスはわが家の感覚。

関東
支部総会

- 開催日時 11月19日(土)
 - 受付12:00
 - 講演会12:10~13:10
 - 箏演奏13:30~14:00
 - 支部総会・懇親会14:00~16:00
 - 会場 「アルカディア市ヶ谷(私学会館)」
千代田区九段北4-2-25 TEL.03-3261-7760
 - 会費 7,000円 ■返信締切日 11月12日(土)
- (※懇親会参加者のみ必要です)

講演会 『今の子どもの遊びから見えること』



我々の時代と、子どもたちの遊びは変化していますが、今の時代も子どもたちは遊びを通して、たくさんの大切なことを学んでいます。ともすれば早期教育に走りがちなの時代、遊びの意義を再度一緒に考えましょう。

講師 清水幸一 四国学院大学教授

1980年度社会福祉学科卒業後、大阪YMCAやシンガポールYMCAの社会教育や国際協力の現場で25年間働き、その後、大阪体育大学大学院でスポーツ科学を専攻、2009年春、教員として母校に赴任。「神に愛され、人を生かす教育」を目指す。また、学生時代から続けているパドミントン、体育の授業では負けなしと自負。四国学院大学サッカー部部長また四国学院同窓会副会長も務める。



箏演奏 中島美都里 (1978年度社会福祉学科卒業)

さいたま市、熊谷市で箏教室を主催し後進の指導にあたるほか、多くの方に箏の世界に触れる機会をもっていただきたいと国際文化交流の場を中心に演奏活動を行っています。過去、グアム訪問時には、総領事主催の天皇陛下誕生祝賀会で箏の演奏を披露したほか、ジャズクラリネット奏者との共演にもチャレンジし、独自の活動として箏による弾き語りにも挑戦しており、『源氏物語千年に寄せて』、『百人一首の世界』をテーマとして季節ごとに演奏活動を行っていらっしゃいます。

広島県支部
沖縄県支部結成
総会

2016年度中に開催予定です。決定しましたらご案内いたします。
四国学院同窓会ホームページでもご確認ください。

各講演会は、一般の方も聴講できますので、ご友人、ご家族様と一緒にお願いします。
近隣支部への参加、勤務地や開催日にお近くにいらっしゃる等、どの支部でも参加はご自由です。
同窓会ホームページでもご確認ください。



1. 申込方法

- ①同封のハガキにて返信
- ②e-mailにて rogosu@sg-u.ac.jp
ハガキと同様、必要項目を入れて送信ください。
受信確認の返信をしますので連絡がない時は、お手数ですが、TELでご一報ください。

2. お問い合わせ

- 「四国学院同窓会事務局」
- ①0120-459-500(平日8:30~17:00)
 - ②e-mailにて rogosu@sg-u.ac.jp
携帯電話、e-mailに支部総会のご案内をさせていただく場合がございます。



大学時代の思い出 儀保(前坂)幸栄 (1991年度短期大学英语科卒業)

私の短大生活は女子寮「紫苑寮」なくて語ることはできません。それほどあの時の仲間との出逢いがその後の私の人生に大きく影響しているからです。卒業後20年以上経ちますが、一つ屋根の下で共に暮らした仲間は「家族」のようでもあり、心から信頼できる「友」でもあり、また生きていく過程においていい意味での「ライバル」でもある気がしています。

今、私たちアラフォー世代は就職、結婚、出産、子育てなど人生の醍醐味を経験し、全速力で駆け抜けた20代30代の頃と違って、自分自身の人生をふと立ち止まって考える時期となりました。どんな人にも辛くて悲しい過去や忘れられない苦い経験が1つや2つあります。誰もが幸せになりたいと願い、希望を胸に大人の社会へ飛び出したものの、現実とのギャップに頭を悩ませてきたのではないのでしょうか。だからこそ、学生時代の楽しい思い出が心の支えであり、仲間との絆が折れた心を癒してくれたのではないのでしょうか。

私たちが入学した1990年代前半は今のように携帯電話が普及していなかった為、寮内の玄関に置かれた公衆電話が唯一の連絡手段であり、長い列に順番待ちをして電話をかけるのが一般的でした。インターネットで検索することも、SNSで友達を作ることなかったからこそ、培えた寮での体験は人との関わりをたくさん学ばしてくれました。泣いたり、笑ったり、怒ったり、感情を素直に出せる環境がそこにはありました。そんな四国学院で過ごした2年間は私の宝であり、誇りでもあります。1991年度後期には紫苑寮中寮の寮長をさせて頂き、北寮、中寮、南寮だけでなく男子寮「向山寮」の人達ともたくさん交流する機会を得ることができました。あの頃一緒に過ごした諸先輩方、同級生、そして後輩たちにまた会いたいと遠い沖縄の地に居ながら切に願ってやみません。当時流行っていた「ちびまる子ちゃん」の主題歌「おどるポンポコリン」を聞けば自然と寮祭で踊った記憶が鮮明に蘇ってくるのは私だけでしょうか(笑) 同世代ならきつとニヤリとつい笑みを浮かべずにはられない懐かしさを感じていることと思います。

小さい頃から英語が大好きで一生懸命勉強してきた私の次なる目標は念願だった語学留学をたとえ短期間でも近い将来必ず実現することです。子供がいるから、仕事があるから、歳だから、お金がないからとできない理由を並べて言い訳せず、本当にやりたいことを誰にも遠慮することなく実行する勇気を持ちたいと思っています。そして、いくつになってもあの頃と同じ笑顔であの頃の仲間に出会いたいと思う今日この頃です。紫苑寮のみなさん、私たちはまだ若い!! 幸せはこれからが本番!!

四国学院大学サークル紹介



少林寺拳法部



今年度より新規サークルとしてはありませんが、少林寺拳法部を再建させていただきました。これも、OBの方々や大学職員・教員の先生方、一般財団法人少林寺拳法連盟の先生方のご協力のおかげです。現在、部員数は少ないですが顧問の清水先生や本部職員の方の谷先生、秋元先生のご指導のもと週に月曜日と水曜日の午後五時半より第五体育館で稽古に励んでいます。これから部活動として部員一同協力し先輩方の築いてこられた伝統や思いを引き継ぎ四国学院大学少林寺拳法部としての誇りをもち活動していきたいと思っています。まだ一人の拳士としても四国学院大学少林寺拳法部部員としてもまだまだ未熟なところばかりですが先輩方からのご支援、ご指導よろしくお願い申し上げます。近くに来られる機会がありましたら是非いらしてください。部員一同心よりお待ちしております。 結手

主将 山下幹太
shourinji.sgu@gmail.com

キャンプリーダー会 トムソーヤ

現在、トムソーヤの部員人数は、43人で。去年と比較して、圧倒的に新入生の人数が増え、活気に溢れています。昨年度は、人数もあまりいなく、活動数も数えるほどでした。今年は、こんなにも沢山の新生が入部を希望してくれたので、活動数を増やし、仲間の輪を広げていきたいと考えています。去年も行ったのですが、今年も同様、新入生歓迎を兼ねての、鉢伏公園でバーベキューを行いました。参加者も多く、とても楽しく和やかな雰囲気、新入生交えての第一回目の活動としては、好調な滑り出しとなったのではないかと思います。毎年恒例の大学祭では、去年は、少人数にもかかわらず、トムソーヤ代々引き継がれている「オムソバ」は完売し、予想を上回る結果となりました。また、卒業生が来てくださったことが、何よりも嬉しかったです。今年は、人数が増えたということもあり、去年よりも売り上げを伸ばそうと力が入っています。また卒業生に喜んでもらえたらなと思っています。卒業生や、上回生の楽しそう



に活動する姿、仲の良さを、現在のトムソーヤでも存分に引き出していけるよう、今後も活動に取り組んでいきます。

3回生 北川朋佳
tomoka090210@gmail.com

四国学院大学学生課外活動支援

四国学院同窓会では、全国大会出場を果たした団体(個人)に対し、寄付および支援金支給により学生の頑張りを応援しています。お住まいの近くで試合がありましたら、温かいご声援をよろしくお願いたします。

大学女子サッカー地域対抗戦2016 (開催 2月兵庫県)

女子サッカー部 松浦・山下

四国地域代表として出場しました。昨年と同様、大変貴重な経験をする事ができました。普段は、大学生同士で試合をするのが難しいので、新鮮な感じでした。1勝もできずにチーム中12位という結果でした。結果も大切だと思いますが、すぐに結果がついてくるものとは思っていません。今は、結果よりも、沢山の経験を積んでこれからに生かしていけるように日々精進していくので、これからも応援、ご支援のほどよろしくお願いたします。



2016年度第55回四国学院大学祭

11月12日(土)・13日(日)に開催します。13日はお笑いライブや、ファイヤーダンサー、サーカスアーティストを招いてのボンファイヤーなどを企画しています。



■お問い合わせ

四国学院大学大学祭実行委員会 4gaku.fes@gmail.com

参加者募集

四国学院同窓会参画

学生に同窓生の活躍している様子を知ってもらうこと、また学生と同窓生の交流が図られる機会を設け、今後の同窓会活動を身近に感じていただくことを願っています。

日時 11月12日(土)・13日(日) 11:00~16:00
※参加できる日・時間でかまいません。

場所 ログス館1階ホール

■同窓生による商品展示・販売

例えは 制作した手芸・陶芸・
絵画・農作物・食品等

内容 ■同窓生ご自身が経営している会社・お店の宣伝広報

例えは パンフレット

※売上の一部を、四国学院大学教育支援寄付とさせていただきますと嬉しく思います。

ログス館(同窓会館)

無料開放日
11月12日(土)

同窓生のホームカミングを歓迎します。受入には限りがありますので、お早めにご予約ください。

同窓会の会場やご家族、ご友人との旅行の宿としてもご利用いただけます。



全景



ホール
(約40席)



2階 洋室
(6人,10人各1室)
1人
1,200円/1泊
シャワー共用



2階 和室
(8人程度)2室
1人
1,200円/1泊
シャワー共用



3階 個室
(4室)
1室
3,000円/1泊
お風呂・トイレ付
(タオル・浴衣有)



3階 和室
(4人2室)
1室
7,500円/1泊
お風呂・トイレ付
(タオル・浴衣有)

【お問い合わせ・申込先】 四国学院同窓会 ※ホームページからお申込みができます。

熊本地震義援金

4月14日以降に相次いで発生している熊本県を震源とする一連の大地震は、熊本・大分を中心に、大きな被害をもたらしています。熊本県には56名、大分県には101名の四国学院の同窓生がおられ避難生活を案じています。被災地域に対する支援のため、義援金口座を開設しました。お寄せいただいた義援金は、公共機関が窓口となる団体等へ寄付をさせていただきたいと思っております。同窓生の皆様、ご賛同をいただけますようご協力をお願い致します。

1.実施期間 2016年4月20日~2017年3月31日

2.受付方法 <銀行振込>

四国銀行善通寺支店 普通286418
口座名「四国学院同窓会 会長 山本宏」

住所変更届のお願い

四国学院大学の催し、各種同窓会等の案内をいたします。“転居先不明”で本会に郵便物が返送されてくる悲しいことになりませんように、ご自身で変更届をしてください。

四国学院同窓会会費納入のお願い

同窓生の皆様におかれましては、同窓会活動にご支援を賜りまして、深く感謝申し上げます。同窓会活動運営費は、在籍している卒業年次生から徴収する終身会費で賄われていますが、学生数減少による収入減、反対に年々増加する同窓生数により、将来的にみますと同窓会財政が厳しい状況になってきております。過去を調べてみますと、1981年度以前の卒業生は年会費500円、1982から1990年度は年会費1,000円で10年分の徴収がされていました。ついては、会費有効期間が満了しておられる1990年度以前の卒業生約9,800人に、右記のとおり納入のお願いをさせていただくことといたしました。同窓生一人お一人のご理解とご協力をよろしくお願申し上げます。

■対象者と納付額

①1990年度以前の卒業生	25,000円(終身会費のみ)
②1991年度以降の卒業生で終身会費を納めていない方	30,000円 (入会金5,000円、終身会費25,000円)

■振込方法

同封の「払込取扱票」にてお願いします。通信欄に、卒業年度・学科・旧姓もお書き添えくださるようお願いいたします。

※同窓会会費をすでに納めているか疑問の方はお問合せください。(入金済の方で払込票が同封されている場合は、ご了承ください) ※会費納入が重複した場合を除いて、一旦納入した会費は原則として返還はできません。寄附金の扱いとさせていただきます。 ※同窓会会費未納の方は、各種同窓生支援制度の対象となりません。

四国学院大学香川西高等学校

2009年10月に法人間で協力協定を締結してまいりました学校法人「瀬戸内学院」が運営する「香川西高等学校」(三豊市高瀬町)を、2016年4月から、「四国学院大学香川西高等学校」に校名変更いたしました。さらなる連携強化と“四国学院大学の教育理念の共有”がされます。サッカー、野球、ゴルフ、陸上等、全国大会に出場する生徒も多く、四国学院大学と同様、応援をよろしく願います。



『君と100回目の恋』(月川翔監督)2017年2月公開予定

5月下旬、四国学院大学で、約50名の映画関係者による撮影が行われました。主な撮影場所は、ホワイトハウスとエクステス館(図書館)。ロゴス館もスタッフの食事・休憩場所として応援いたしました。スクリーンの中の母校をお楽しみください。

～あらすじ～
シンガーソングライターのmiwaさんと坂口健太郎さんの主演による恋愛映画。事故に遭った大学生の葵海(miwa)は気付くと、1週間前の教室にいた。時間を戻す能力を持つ幼なじみの陸(坂口)は、葵海の運命を変えるため、何度もタイムトラベルし、時を戻していた。互いの思いを知った2人は、恋人として日々をやり直すために1年前に戻る。幸せな時間を過ごす2人だったが、再び事故の起きたあの日がやってきて……。葵海はバンドのボーカルでもあり、歌姫と一途男子が繰り広げる切ない恋愛SF映画。

SARP vol.11 (演出 白神ももこ) / SARP vol.12 (演出 工藤千夏)

四国学院大学・アーティスト・イン・レジデンス・プログラム(通称SARP/サーブ)とは、四国学院大学の身体表現と舞台芸術マネジメント・メジャーが主体となって制作する公演の名称です。毎回、プロの演出家・振付家が大学内の宿泊施設に1ヶ月以上滞在し、学生キャスト・スタッフとともに一般観客の鑑賞に耐えうるレベルの高い舞台作品を創作し上演することを目指します。vol.11『大丈夫。』は、モモンガ・コンプレックス主宰の振付家・演出家・ダンサーの白神ももこ氏をお招きし、コンテンポラリー・ダンスに挑みました。まず、宇多津町のユープラザうたつにて、公開稽古(6月21日)・ワークショップ(6月22日)を開催し、そして、本学のノススタジオにて、作品の上演(7月7日～10日)を行いました。Vol.12では、うさぎ庵主宰・青年団演出部・渡辺源四郎商店ドラマターグ、とさまざまな場所で活躍する劇作家・演出家の工藤千夏氏をお招きし、工藤氏書下ろしの新作戯曲を上演(2017年2月5日～10日)します。

問合せ先 四国学院大学パフォーマンス・アーツ研究所(SIPA) TEL:0877-62-2324

2016年度 キャリア拡充演劇ワークショップ

現在、さまざまな教育現場や社会現場において、他者との関係を構築しそれを維持する力、自分と意見や考え等が異なる人とも円滑に交流する力、チームワークや協働など、コミュニケーションがベースになる力の重要性が高まっています。それらを学ぶ機会としてプロのファシリテーターを講師に迎え、実際に教育現場や社会福祉の現場で行われているワークショップを体験し、コミュニケーションやワークショップの有用性について学びます。本講座は教職や社会福祉士受験資格等取得を目指す本学学生が受講しています。どなたでも見学自由です。7月16日(土)・17日(日)は、菅原直樹氏、10月15日(土)・16日(日)は、林成彦氏、11月19日(土)・20日(日)は、わたなべなおこ氏を講師としてお招きして実施します。

問合せ先 四国学院大学 総合教育研究センター事務局 TEL:0877-62-2455

ノトスクール 子どもと青少年のためのワークショップ in summer

ノトスタジオでは、地域の方々アートとふれあい、言葉とからだを通して表現する経験を提供することを目的とする教育プログラム、ノトスクールを定期的に開催しています。身体表現と舞台芸術マネジメント・メジャーの特徴を生かした、演劇や即興演劇、コンテンポラリー・ダンスのワークショップを実施し、新しい劇場のあり方を常に模索しています。今回は、『ノトスクール子どもと青少年のためのワークショップ in summer』(8月1日～6日)として、小学生・中学生・高校生を対象としたダンスと演劇のワークショップを開催します。また、高校生を対象としたヒップ・ホップのワークショップ(9月22日)やダンスシアター公演『TRASHedy ～地球の正しい使い方～』(11月5日～6日)も予定しています。

問合せ先 四国学院大学 総合教育研究センター事務局 TEL:0877-62-2455

スクール・ソーシャルワーク 活用講座 in SGU 2016

教育相談担当教職員およびSSWerの個別援助・支援技術の向上と多職種連携によるチーム支援の方法等の習得を目的とします。

プログラム日時
①7月26日(火) 13:30～15:00 ②8月23日(火) 13:30～15:00
③9月27日(火) 13:30～15:00 ④10月18日(火) 13:30～15:00
⑤11月8日(火) 13:30～16:30 ⑥11月22日(火) 13:30～15:30

会場 四国学院大学(8号館)駐車場あり(1回300円) **受講料** 500円/1回

お問い合わせ 申込先 四国学院大学リエゾン・センター TEL: 0877-62-2111(内線:545)
〒765-8505 FAX: 0877-62-2208
普通寺市文京町3-2-1 E-mail: liaison@sg-u.ac.jp

平田オリザ講演会 「アクティブラーニング導入のために」

本学の平田オリザ学長特別補佐が、教育関係者の方を対象に、現場で活かせる、アクティブラーニングの手法を用いたワークショップならびにレクチャーを実施します。ワークショップは参加あるいは見学いただけます。

日時 8月10日(水) 15:30～16:40 **会場** 四国学院大学 ノトスタジオ

お問い合わせ・申込先 〒765-8505 普通寺市文京町3-2-1
TEL: 0877-62-2111(内線:545)
四国学院大学 FAX: 0877-62-2208
リエゾン・センター E-mail: liaison@sg-u.ac.jp

「四国学院大学大学院社会福祉学研究所 講演会」のお知らせ

浦河べてるの家の歩みと当事者研究の可能性

講師:向谷地生良氏(北海道医療大学保健福祉学部教授、浦河べてるの家理事)

日時 8月25日(木) 18:30～20:00 **会場** 本学キャンパス5号館514教室

お問い合わせ 社会福祉学研究所・鳥影 TEL: 0877-62-2111(内線:355)
E-mail: tshimakage@sg-u.ac.jp

※入場無料・予約申込不要
※詳しくは、大学ホームページ「イベントカレンダー」をご覧ください。

<クリスマス・プロジェクト> 「四国学院大学学術講演会」のお知らせ

福島の子どもたちは今 ～東日本大震災が露わにした日本の子どもたちの現状～

講師:菊池信太郎氏(小児科医、NPO法人郡山ベップ子育てネットワーク理事長)

日時 11月22日(火) 13:30～15:00

会場 本学キャンパス 7号館711教室

※入場無料・予約申込不要 ※詳しくは、大学ホームページ「イベントカレンダー」をご覧ください。

お問い合わせ 四国学院大学リエゾン・センター 〒765-8505 普通寺市文京町3-2-1
TEL: 0877-62-2111(内線:545)
FAX: 0877-62-2208
E-mail: liaison@sg-u.ac.jp

事務所閉室期間中の証明書発行

2016年度は8月11日～17日の期間中、事務所が閉まります。この間、卒業・成績証明書等は、発行停止となりますので、就職活動や大学院進学等で証明書の必要な方は、早めに申込みをしてください。



「四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援制度」

四国学院大学では同窓生の学習意欲を応援しています。教員免許など資格の取得を目標にしていたが、卒業までに必要な単位を修得することが出来ず、改めて資格の取得を目指そうと考えている同窓生、純粋に教養を身につけたいと考えている同窓生のために設けられている制度です。

内容

四国基督教学園、四国学院短期大学、四国学院大学、四国学院大学院を卒業した者で、学部科目等履修生または学部科目聴講生として登録した者は、下記のとおり免除および減額します。ただし、四国学院大学院生として在籍している者は、対象から除きます。

- ①学部科目等履修生の登録料を免除する。(20,000円免除)
- ②学部科目の科目等履修料を1単位毎に半額に減額する。(1単位5,000円減額)
- ③学部科目の聴講料を1単位毎に半額に減額する。(1単位5,000円減額)



2017年度入試より 予約型支給奨学金を新設しました。

本学を第一志望とする方で、経済上の事情で修学困難な学生への支援を目的に予約型の支給奨学金を新設しました。この奨学金は、入試出願前に申請いただき、審査の結果、採用となった方に入学後の奨学金支給を事前にお約束するものです。支給額は年間200,000円(原則4年間)で、返済義務はありません。

問合せ先 入試課 フリーダイヤル 0120-459-433



2016年度 教員免許状更新講習

香川県西讃地域唯一の4年制大学として、また教員養成課程を有する四国学院大学では、2016年度も教員免許状更新講習を実施いたします。7月30日から8月7日の9日間で、必須2講座、選択必須6講座、選択25講座を開講します。「教育現場ですぐに役立つ最新知識・実践実習」を展開しています。



介護福祉士を取得したい方へ

四国学院大学を卒業後、四国学院大学専門学校に入学し卒業することで、介護福祉士国家試験の受験資格が取得できる制度が導入されています。本学卒業生は、入学金が免除になります。また、香川県の修学資金制度を利用する場合、卒業後、香川県内で介護業務に就き5年間従事すれば、最大160万円の返済が免除になります。また、四国学院大学専門学校内に介護福祉士実務者研修センター<通信制>が設置されました。現在介護業務に従事している、介護福祉士の資格を考えている卒業生の方は、2016年度(2017年1月)の受験からは、必須課題として実務者研修修了が受験資格になります。通信の良さは自宅で自分のペースで学べる事です。学費は、入学金不要で、現在修了済みの研修等により金額が変わります。介護福祉士を目指そうとしている方は、四国学院大学専門学校にご相談ください。

問合せ及び資料請求先

学校法人瀬戸内学院 四国学院大学専門学校
フリーダイヤル 0120-72-5192 メールアドレス info2@setouchi.ac.jp



教育訓練給付制度(一般教育訓練)概要

教育訓練給付制度(一般教育訓練)とは?

労働者や離職者が、自ら費用を負担して、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し修了した場合、本人がその教育訓練施設に支払った経費の一部を支給する雇用保険の給付制度です。

給付制度対象の指定講座は?

教育訓練給付の対象となる講座は、厚生労働大臣の指定を受けている必要があります。本学大学院では、2015年4月1日～2018年3月31日の期間、下記研究科・専攻が教育訓練講座として指定されています。

教育訓練施設名: 四国学院大学
教育訓練講座の名称: 社会福祉学研究科社会福祉学専攻
社会学研究科社会学専攻

利用を希望する場合は? 四国学院大学総合教育研究センター事務局(TEL:0877-62-2455)までご相談ください。

給付額

教育訓練施設に支払った教育訓練経費の20%に相当する額となります。ただし、その額が10万円を超える場合は10万円とし、4千円を超えない場合は支給されません。

利用資格

受講開始日現在で雇用保険の被保険者であった期間が3年以上(初めて支給を受けようとする方については、当分の間、1年以上)あること、前回の教育訓練給付金受給から今回受講開始日前までに3年以上(※)経過していることなど一定の要件を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)又は一般被保険者であった方(離職者)が厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合に支給。

※2014年10月1日前に教育訓練給付金を受給した場合はこの取扱は適用されません。



社会福祉士・精神保健福祉士の 受験をお考えのみなさまへ

昨年度に引き続き、卒業生も本学キャンパスで「社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験」(主催:日本社会福祉士養成校協会・日本精神福祉士養成校協会)を受験することができます。受験対策にぜひご利用ください。詳しくは、大学ホームページ「卒業生の方へ」をご覧ください。



四国学院大学
Facebookはじめました!
皆様からの お待ちしております。

<https://www.facebook.com/shikokugakuin/>



見て、聴いて、触れて、感じる。四国学院大学の雰囲気直接体験してみよう

2016年度オープンキャンパス

大学紹介、モデル授業、個別相談会、キャンパスツアー、保護者対象説明会、その他多数のプログラムを実施いたします。お気軽にご来場ください。

7/
sat 23

11:00~15:30

※こどもひろば同日開催

8/
thu 11

11:00~15:30

9/
thu 22

11:00~15:30

※Anthony Hutchinson
ダンスワークショップ同日実施

オープンキャンパスや入試に関する
お問い合わせ・資料請求は

入試課

通話料無料

0120-459-433

TEL0877-62-3964(入試課直通)

E-mail info@sg-u.ac.jp HP <http://www.sg-u.ac.jp>

オープンキャンパス以外の日程でも個別相談・施設見学など随時受け付けております。お気軽に入試課までお問い合わせください。無料送迎バスルートについて、詳しくはホームページをご覧ください。